

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前事業年度	当第1四半期会計期間	比較増減
		(2022年3月31日)	(2022年6月30日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		20,757	18,456	△2,301
有価証券		46,865	48,797	1,931
有形固定資産		403	374	△29
無形固定資産		5,715	6,302	587
その他資産		5,943	8,681	2,737
繰延税金資産		1,744	1,838	93
貸倒引当金		△0	△0	△0
資産の部合計		81,430	84,449	3,019
負債の部				
保険契約準備金		57,382	65,092	7,710
支払備金		22,115	22,658	543
責任準備金		35,266	42,433	7,166
その他負債		5,641	2,366	△3,275
役員退職慰労引当金		9	11	1
賞与引当金		410	169	△241
役員賞与引当金		15	4	△10
特別法上の準備金		87	92	4
価格変動準備金		87	92	4
負債の部合計		63,547	67,736	4,188
純資産の部				
株主資本				
資本金		32,260	32,260	—
資本剰余金		40,692	40,692	—
利益剰余金		△55,321	△55,566	△245
株主資本合計		17,631	17,386	△245
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		250	△673	△923
評価・換算差額等合計		250	△673	△923
純資産の部合計		17,882	16,713	△1,169
負債及び純資産の部合計		81,430	84,449	3,019

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	比較増減	増減率	
		(自2021年4月1日 至2021年6月30日)	(自2022年4月1日 至2022年6月30日)			
		金 額	金 額			
経常収益		19,548	21,406	1,857	9.5%	
保険引受収益		19,485	21,322	1,836	9.4	
(うち正味収入保険料)	(19,307)	(21,310)	(2,003)	(10.4)	
(うち積立保険料等運用益)	(10)	(12)	(1)	(11.6)	
(うち支払備金繰入額)	(167)	(—)	(△167)	(△100.0)	
資産運用収益		52	82	29	56.7	
(うち利息及び配当金収入)	(58)	(94)	(36)	(62.5)	
(うち有価証券売却益)	(5)	(—)	(△5)	(△100.0)	
(うち積立保険料等運用益振替)	(△10)	(△12)	(△1)	(—)	
その他経常収益		10	1	△9	△85.3	
経常費用		19,171	21,643	2,471	12.9	
保険引受費用		15,523	17,825	2,302	14.8	
(うち正味支払保険金)	(8,089)	(8,628)	(538)	(6.7)	
(うち損害調査費)	(1,025)	(1,114)	(88)	(8.6)	
(うち諸手数料及び集金費)	(401)	(368)	(△32)	(△8.1)	
(うち支払備金繰入額)	(—)	(543)	(543)	(—)	
(うち責任準備金繰入額)	(6,001)	(7,166)	(1,165)	(19.4)	
資産運用費用		0	—	△0	△100.0	
営業費及び一般管理費		3,640	3,806	166	4.6	
その他経常費用		7	10	3	53.7	
(うち支払利息)	(1)	(1)	(△0)	(△25.2)	
経常利益又は経常損失(△)		377	△236	△613	△162.7	
特別損失		3	4	1	37.1	
固定資産処分損		—	0	0	—	
特別法上の準備金繰入額		3	4	1	37.1	
価格変動準備金繰入額		3	4	1	37.1	
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		373	△241	△614	△164.7	
法人税等		43	3	△39	△90.9	
四半期純利益又は四半期純損失(△)		330	△245	△575	△174.3	
保 險 引 受 収 支	正味収入保険料	(+)	19,307	21,310	2,003	10.4
	正味支払保険金	(-)	8,089	8,628	538	6.7
	損害調査費	(-)	1,025	1,114	88	8.6
	正味事業費	(-)	4,028	4,161	132	3.3
	(諸手数料及び集金費)	(401)	(368)	(△32)	(△8.1)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(3,627)	(3,792)	(164)	(4.5)
	収支残高		6,162	7,406	1,244	20.2
保険引受利益(△は損失)		354	△275	△629	△177.6	
諸 比 率	正味損害率	(%)	47.2	45.7	△1.5	
	正味事業費率	(%)	20.9	19.5	△1.3	
	コンバインド・レシオ	(%)	68.1	65.2	△2.8	

種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料（除く収入積立保険料）

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 2021年4月1日 至 2021年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 2022年4月1日 至 2022年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	401	2.0	0.1	402	1.8	0.2
海上	—	—	—	—	—	—
傷害	618	3.1	△7.5	511	2.3	△17.3
自動車	18,515	93.2	5.1	20,779	94.3	12.2
自動車損害賠償責任	—	—	—	—	—	—
その他の	331	1.7	△0.9	341	1.6	3.1
合計 (収入積立保険料)	19,866 (—)	100.0 —	4.5 (—)	22,035 (—)	100.0 —	10.9 (—)

正味収入保険料

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 2021年4月1日 至 2021年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 2022年4月1日 至 2022年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	93	0.5	△31.4	111	0.5	20.2
海上	△0	△0.0	—	0	0.0	—
傷害	596	3.1	18.8	389	1.8	△34.8
自動車	18,182	94.2	4.9	20,380	95.6	12.1
自動車損害賠償責任	104	0.5	△20.3	87	0.4	△15.9
その他の	330	1.7	△0.9	340	1.6	3.1
合計	19,307	100.0	4.8	21,310	100.0	10.4

正味支払保険金

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 2021年4月1日 至 2021年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 2022年4月1日 至 2022年6月30日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	155	57.0	186.4	78	△49.7	90.8
海上	△0	—	—	△0	—	△7,348.3
傷害	264	△5.4	51.0	173	△34.2	55.5
自動車	7,490	16.2	46.4	8,200	9.5	45.2
自動車損害賠償責任	120	△13.3	119.3	111	△7.2	132.4
その他の	60	8.0	25.8	64	6.5	27.6
合計	8,089	15.2	47.2	8,628	6.7	45.7

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

区分	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	21,775	21,231
資本金又は基金等	17,631	17,386
価格変動準備金	87	92
危険準備金	11	11
異常危険準備金	3,669	4,342
一般貸倒引当金	—	0
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益 (税効果控除前)	374	△601
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等 のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$	8,841	8,882
一般保険リスク (R_1)	7,011	7,037
第三分野保険の保険リスク (R_2)	—	—
予定利率リスク (R_3)	15	14
資産運用リスク (R_4)	1,763	1,816
経営管理リスク (R_5)	302	305
巨大災害リスク (R_6)	1,304	1,305
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A) / {(B) × 1/2}] × 100	492.5 %	478.0 %

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第1四半期会計期間の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。